



2021年6月

23期東海教区女性会
発行責任＊金高美江子

23期 主題聖句



< 巻頭言 >



伊藤節彦 牧師 (栄光教会 藤枝礼拝堂・焼津礼拝堂)

今期の主題聖句となっている詩編 119:105 を月本昭男先生は、「あなたの言葉はわが足の灯、わが行路を照らす光です」と訳されました。新共同訳も良いですが、原文の味わいは「わが足の灯」「行路」の方が豊かに感じます。志賀直哉の小説「暗夜行路」に示されるように、人間は罪を背負いながら一步一步闇路を歩く存在なのかもしれません。

教会讃美歌 414 番の 2 節に「行くすえ遠く見るを 願わず。よろめくわが歩みを守りて、ひと足 またひと足 導き 行かせたまえ」とあるように、行く末遠くを見据えながら歩めれば楽かもしれませんが、神さまは私たちに、遠くを照らし出すサーチライトではなく、一歩先を照らす灯を下さるのです。

新型コロナウイルスによって、私たちの日常及び教会生活が大きく揺さぶられ、先行きが見えない閉塞感に覆われています。しかし、この経験を通して私たちは、「今日」という一歩の重みと大切さ、その一歩を照らして下さる御言葉の恵みに改めて目が開かれたのではないのでしょうか。

教会讃美歌にはこの聖句に基づいたものが、53、196、239、242 と 4 曲あります。その中でも 239 番「人となりたる神のことば」は全世界で広く歌われてきた曲です。作詞は「貧しい人の主教」と呼ばれたウィリアム・W・ハウ。彼はロンドンのスラム街で貧しい人と共に住み、心身共に仕えた主教でした。そのような彼だからこそ、このような素晴らしい詞を生み出すことができたのでしょう。神の生ける御言葉・御子キリストが人間となり来て下さった、それは私たちの暗夜行路を照らす命の灯となり導いて下さるためでした。それだけでなく、主イエスは「わたしは道であり、真理であり、命である」と仰いました。私たちが踏み出す一歩は、道である主イエスご自身を踏みしめて歩むことに他ならないのです。主の御言葉が、新たに始まる 23 期の行路を明るく照らして下さいように。



23期女性会役員です 宜しくお願いします！



徳弘由美子(連盟担当) 岐阜教会

2019年4月、ブラジルでの10年の生活を終え帰国、岐阜に越して来ました。趣味は音楽、舞踊鑑賞。知らない国や国内でも知らない街の街歩き、そこの教会を訪ねてみるのも好きです。

好きな言葉、折にふれ思い起こす言葉はマザー・テレサの言葉。「神はわたしたちに成功してほしいとは思っていない。挑戦することを望んでいるだけです」です。

今回役員のお役目を聞いて、帰国後間もないし日本の教会の女性会からも暫く離れていたのも、私に務まるのかと悩みました。

何もわからない所から、またコロナ禍の中でのスタートで難しい事もありますが、神さまの言葉に聞き、真心をつくして挑戦していきたいと思っています。みなさま、宜しくお願い致します。



磯村和子(書記担当) 知多教会

「教区女性会の役員になって頂けないか」と、齋藤先生からお声が掛かり、まさかの展開となりました。転勤族だった夫の定年後、夫の故郷の常滑に移り住むことになり十二年目、家から海が近いので、ウォーキングの途中、浜の突堤に立ち、よく海を眺めます。

その日も、役員を受けるか悩みつつ寄せ来る波を眺めていると、讃美歌Ⅱ篇171番の歌詞が浮かんできました。「大波のように 神の愛が私の胸に寄せて来るよ 漕ぎ出せ、漕ぎ出せ、世の海原に 先立つ主イエスに身を委ねて」

女性会連盟のことは、これまで意識が薄く、分からない事多々ありますが、先立つ主イエスに身を委ねて、連盟の海原に漕ぎ出してしまいました。このような者ですが宜しくお願いします。

立春の怒濤や神の大いなる 和子

渡邊直美 (会計担当) 浜松教会

東海教区女性会の皆様こんにちは。23期教区女性会の会計をさせていただくこととなりました渡邊直美と申します。結婚を機に浜松へ越して来て今年で5年目となります。数字が大の苦手なるべく避けてきた人生ですので、会計として立てられた神様の采配にドギマギしている所ですが誠実に取り組んでゆきたいと思います。

学生時代は運動ばかりでしたが最近は絵を描くことや簡単なお菓子作りが趣味です。あとは猫が好きで日曜日は教会の猫好き仲間と盛り上がりつつあります。新型コロナのこの混乱が収束し皆様と直にお会いできる日を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

**金高美江子 (会長) 栄光教会藤枝礼拝堂**

この度、教区女性会会長の役目を頂きました金高と申します。随分前にも教区役員で連盟担当を行い、今期で2度目になります。錆びついた頭を研ぎながら、3名の姉妹と共に協力してやっていきたいと思っています。コロナ禍で行事の計画が出来ませんが、「アガパンサス」紙面を通して、個々の教会ニュースを伝えていきます。

現在、自宅から比較的近い特別養護老人ホームに職場を変え、看護師として週3日働いています。日本キリスト教団を母体とした施設です。フルタイム勤務から少し時間が生まれ、20年来の犬猫の保護活動を始め、最近は大井川鉄道 SL の撮り鉄に変身し、一眼レフのカメラを手に相棒の黒柴犬と共に川根路を走っています。又昨年、大輪菊作り（盆養）・懸崖・ざる菊に挑戦し、80代の師匠の手ほどきを受け、文化の日には藤枝市田中城下屋敷に展示させて頂いています。

働ける喜び、趣味に勤しめる健康、主の掌の上で生きられる幸せを、これからも忘れずにいたいと思います。



栄光教会－島田礼拝堂－

70年の歴史を締めくくる



最後の聖餐式 21. 3. 6 (土)



満開の桜の木の元で 3. 27 (土)



島田礼拝堂 最後の礼拝 2021. 3. 27 (土)

～主にある兄弟姉妹が集って～

歴代の牧師・宣教師の氏名

栄光教会 ー島田礼拝堂となるー

・ケン・ステンバーク牧師	(1951～52)	・重富克彦牧師	(1993～98)
・アンナ・ミッチェル宣教師	(1951～54)	・柏田憲吾牧師（応援牧師）	(1996～02)
・ルイス・デビッドソン牧師	(1952～56)	・松岡俊一郎牧師	(1999～02)
・ローズマリン・ホルティ宣教師	(1953～58)	・角本浩牧師	(2003～09)
・ノーマン・ニューマン牧師	(1956～58)	・クーシランタ・テレルグオ師	(2005～08)
・バニーズ・ボーヤム宣教師	(1958～67)	・内藤・塩原・木下・横田牧師	(2009～18)
・アンセス牧師・池田政一牧師	(1958～59)	等による説教応援	
・フィリップ・ルティオ牧師	(1959～64)	・渡邊進牧師	(2010～12)
・ジョン・ホームステッド牧師	(1964～68)	・内藤文子牧師	(2013～19)
・大岩正巳牧師	(1967～74)	・伊藤節彦牧師	(2020～)
・ピーダーセン宣教師	(1970～75)		
・濱田道明牧師	(1974～78)		
・長沼三千夫牧師	(1978～83)		
・角田健牧師	(1983～93)		

寄稿文

島田礼拝堂での思い出

内藤文子 牧師（小岩教会）



長い先人たちの宣教の歩みの歴史を持つ「島田礼拝堂」は、2021年3月をもって閉鎖されました。2020年3月まで、主任牧師であった私が、思い返し感謝を込めてここに言葉を残させていただきます。私が着任した2013年以降、老朽化がより激しく、改修や庭の環境整備（草取りなど）を含め、教会全体で取り組んでいました。一番のきっかけとなったのは、2018年の台風24号でした。強烈な突風により、屋根の一部が剥がされたのです。幸い保険が下り、応急処置での修理はできました。しかし、雨漏りはより激しくなってきました。栄光教会では、教会全体の将来の展望を話し合う「プロジェクト委員会」「信徒懇談会」を企画し、おもに島田礼拝堂の老朽化、島田での宣教をどうするかを皆で話し合っていました。課題としては、

①会員の高齢化と減少 ②広すぎる敷地対策（環境整備の負担が大きく、経済的に厳しくなった）
③建物管理（毎年起こる台風や災害に対するメンテナンス） これまで歴史を刻み、信徒が愛し信仰を育んだ礼拝堂を閉鎖するなんて・・・と、始めは皆、苦しい思いがありました。しかし会堂は時を経てその役割を終えようとしていることを認識し、島田礼拝堂の運営委員会そして栄光教会の年度総会に「閉鎖」が提案されたのです。島田の信徒は、今後は藤枝・焼津の礼拝へ出席する希望を持ち、新しい歩みを始めることに。

振り返ると、島田礼拝堂でのたくさんの思い出がよみがえります。3礼拝堂で協力した「草刈り」、教区女性会の集いを島田礼拝堂で企画出来た時の皆さんの喜び（ポータブルトイレまで、借りましたね！）、（今は天にいる）八木姉の手巻き寿司教室！クリスマスに大賑わいだった色々な出し物。共に歩んだ日々感謝です。

小澤周平 牧師 (名古屋めぐみ教会) 女性会担当牧師

社会奉仕部の担当教職として推薦頂きました。どうぞよろしくお願い致します。
現在も新型コロナウイルスの影響で大変な思いをされている方が多いと思います。
神様からの慰めをお祈りします。

名古屋めぐみ教会では一年間試行錯誤を繰り返し、現在、日曜日は9時の教会学校そして10時半と11時半の二回の礼拝という形で取り組んでいます。10時半の礼拝中継をウェブ配信し、また、希望者には礼拝の録音CDや説教等の郵送も行っています。連なる皆様には地域の感染拡大状況に合わせて警戒を発信しています。集会等も見送ってきましたが、6月27日には神学校を覚える日を予定。午後には立山校長が東京から講演。双方向のウェブ中継で、立山先生、名古屋めぐみ教会、知多教会、そして自宅から参加する方々を結びます。密集回避の方策がつながりの拡大をもたらさそうです。



近頃、礼拝、交わり、そして教会といった基本的なことを問う声を聞きます。難しい議論ですが、問い直すことは無駄ではありません。信仰を確かなものとし、交わりのつながりを強めることでしょう。教区女性会も困難を乗り越えた先の希望に向かって歩んで参りましょう。神様の導きをお祈りします。

教区各教会の会長名 (2021年)

沼津教会	一杉静子	みのり	長谷川泰子
富士教会	小谷由美子	岡崎	福岡美恵子
清水教会	西野孝枝	刈谷	福田正美
静岡教会	(休会中)	挙母	中根ます美
小鹿教会	鈴木暁美	知多	磯村和子
栄光教会 藤枝礼拝所 焼津礼拝所 島田集会所	安達頼子	なごや希望	坂井茂子
	櫻井國枝	名古屋めぐみ	石川美代子
	片川三枝子	復活	前田有美
掛川菊川教会	高島洋子	高蔵寺	稲垣八重子
新霊山教会	鈴木皓子	岐阜	栗本雅子
浜松教会	中村正子	大垣	齋藤末理子
浜名教会	牧 摂		

「あとがき」次回のアガパンサスでは、各地区のお便りをお届けしたいと考えております。コロナが改善に向き、今より良い社会になることを願っております。***女性会の集会は、コロナ感染状況が改善次第、皆様にご連絡致します。*****お願い** 女性会の会員人数の変更は書記の磯村までご連絡下さい (電話0569-34-6635) (金高記)